

山口県御提出資料

ナッジ手法を応用した 山口県健康寿命延伸対策案



平成29年11月15日
山口県 健康福祉部

1 取組の方向性等 「元気っちゃ！やまぐち構想」（仮称）

目的： 県民一人ひとりが、積極的に、それぞれのライフステージに応じた健康づくりを行うことで、いつまでもいきいきと、充実した生活を送ることのできる社会の実現を目指す。

(1) 山口県民の健康をめぐる状況

現 状

* 全国順位：高率順

■歩数の平均(20～64歳 年齢調整) ほぼ変化なし

H24 男性:7,823歩(全国15位) 女性:6,938歩(全国18位)

H28 男性:7,817歩(全国14位) 女性:6,969歩(全国11位)

■特定健診受診率 全国最下位レベル(45位前後)で推移

H27年度 42.0% (全国平均 50.1%)

■BMI 25以上割合 悪化傾向

H22年度 23.0% (全国平均25.4%) 全国43位

H26年度 24.0% (全国平均26.1%) 全国39位

■メタボリックシンドローム割合(該当&予備群) 変化なし

H22年度 25.3% (全国平均26.4%) 全国40位

H26年度 25.3% (全国平均26.2%) 全国37位

* 受診率自体の低さを考慮する必要あり

課 題

○改善傾向が見られず、早急に抜本的な対策を行う必要がある。

○健康に無関心な層への健康行動を促す動機付けや取組意欲を高める支援が十分ではない。

○県の健康づくりの施策(取組)や個人の取組の効果がわかりにくい。

(2) 目指す姿と取組の方向性（3つの柱）

県民一人ひとりが主体となり、健康づくりを日常的に継続して行うことができるように、県民総参加の推進体制の強化と関連する施策の総合的な推進を図り、県民の健康寿命の延伸につなげる。

I

健康づくりの“見える化”

～県民の健康状態等のわかりやすい提示と効果測定～

II

健康づくりの“日常化・自分ごと化”

～ 県民の行動変容・健康活動の促進～

III

健康づくりのガバナンス強化

～県民の健康を支える基盤の強化・関係者の当事者意識の醸成～

2 施策の方向性①

I 健康づくりの“見える化”

- 個人の健康状態や課題、取組成果をわかりやすく把握できるようにして、取組意欲を促進する。
- 県等の取組成果の把握、評価を行い、より効果的な取組につなげる。

- ◎ ICT(アプリ)の導入と、その活用による個人の取組の見える化、データ蓄積・活用
⇒スマートフォン等による歩数計測、食事写真の送付による栄養バランス計測、体重の随時入力によるBMI算出など
- ◎ シンクタンク、山口大学等と協働した、定期的な調査・分析の実施、成果のわかりやすい公表及びその活用の促進
⇒県民意識調査等による県施策の浸透状況などの定期的な評価や、やまぐち健康マップの活用による地域差の把握・分析など

国の保健医療データプラットフォームとの連携
(AI等を活用したビッグデータ分析)も検討

※分析結果を活用した、ヘルスケア産業等の創出・育成・活性化（他部局と連携）
(例) 運動や食等でのオーダーメイドの健康づくりサービスの提供やソフト開発など

- 各種行事を利用した健康づくり事業のPRや取組促進による見える化(他部局と連携)
⇒ノーマイカーデーと健康マイレージの同時PR、スポーツイベント会場等での筋力測定など
- HP「やまぐち健康サポートステーション」のリニューアル
⇒情報の更新や画面構成の見直し、SNSによる事業(健康マイレージ事業や健康経営企業認定制度等)の周知など
- 個人サポーターの口コミ等による健康づくり情報の発信

II 健康づくりの“日常化・自分ごと化”

○主体的に気軽に楽しく取り組むことで、日常生活の一部として、健康行動の継続的な実践、定着化を図る。

- ◎ 山口県版のアプリの導入により健康マイレージ事業を拡充し、日常的に個人が取組(歩数、体重測定、健(検)診等)を行うしかけづくり
- ◎ スーパー、飲食店等での減塩と野菜摂取の取組促進による、県民が無意識に取り組めるしかけづくり
- 健康マイレージや健康経営企業認定制度の拡充による、個人や企業へのインセンティブ提供による健康づくりの取組の促進
- 介護予防の推進(介護予防体操等の活用)

3 年次スケジュール

取 組		H30	H31	H32	H33	H34
健康づくりの見える化	ITを活用した健康づくりアプリ	企業等と調整 カスタマイズ 試験運用 行政職員	本格稼働 県民一般)			
	定期的な調査の実施	大学等との調査内容等の調整	市町等と連携した定期的な調査の実施、大学やシンクタンク等と連携した分析、データ蓄積、活用			
	ビッグデータの活用	国の動向の把握、事前準備	国の保健医療データプラットフォームとの連携			
健康づくりの日常化 自分ごと化	アプリを活用した健康マイレージ	調整 試験運用	本格稼働 県民一般)			
	飲食店等での減塩と野菜摂取促進	飲食店等への周知 参画依頼		飲食店等の取組促進		飲食店等の取組定着